

池袋西口病院における施設基準について

2025.12.20

当院は厚生労働大臣が定める下記の施設基準に適合している旨、関東信越厚生局に届出を行い受理されています。

施設基準	内 容	算定開始月
情報通信機器を用いた診療に係る基準	当院では、必要時には厚生労働省「オンライン診療の適切な実施に関する指針」に沿って通信医療機器を活用した診療を行うことができます。初診時には、向精神薬の処方を行うことはできません。	令和5年10月
医療DX推進体制整備加算 5	オンライン資格確認を行う体制を有しています。また、オンライン資格確認システムの活用により、診療時に受診歴、薬剤情報、特定健診情報等の診療情報を閲覧、活用できる体制を有しています。 (電子処方箋を発行する体制は有していません) マイナ保険証の利用率は 47%(2025.9実績) です。	令和6年8月
一般病棟入院基本料 急性期一般入院料 6	1日に看護を行う看護職員の数は、常時、入院患者10名に対して1名以上を配置を行っています (夜勤を行う看護職員の数は、2名です) <u>【詳細は別添(1)に掲載】</u> 平均在院日数は 11.2日 、重症度、医療・看護必要度割合は、 10.5% です。 (2025.11時点)	令和7年11月
救急医療管理加算	救急病院等を定める省令に基づき救急病院の認定を受け、休日、夜間の救急医療の確保に努めています。	令和2年4月
診療録管理体制加算 3	適切な診療記録の保管及び管理を行うため専任の常勤診療録記録管理者を配置しています 患者等の申請に基づき診療情報の提供を行っています。	平成30年12月
医師事務作業補助体制加算 2 75対1補助体制加算	医師の負担軽減と処遇改善に資する体制を整備するとともに、医師の事務作業を補助する常勤の専従医師事務作業補助者1名を配置しています。	令和7年4月
医療安全対策加算 2 医療安全対策地域連携加算 2	医療従事者で構成される医療安全管理部門に医療安全対策に関する研修を修了した専任の医療安全管理者を配置し、安全管理の指針、医療事故等の報告体制を整備し、医療安全委員会と連携し、安全管理のための改善策の実施・指導や職員研修、患者相談を行っています。 また、東京山手メディカルセンターと連携し、医療安全対策に関する評価・指導を受けています。	平成30年7月

データ提出加算	厚生労働省が実施する「DPCの評価・検証等に係る調査」の退院患者調査に準拠したデータ提出事業に参加しています。	令和2年1月
せん妄ハイリスク患者ケア加算	全ての入院患者に対して、せん妄のリスク因子の確認を行い、ハイリスク患者に対して、せん妄対策を実施しています。	令和7年4月
短期滞在手術等基本料1	日帰りにて手術等(内視鏡的大腸ポリープ・粘膜切除術・痔核手術・肛門ポリープ切除術等)を実施するために、術後の安全対策(回復室・看護体制・連絡体制)を整えています。	令和4年9月
がん治療連携指導料	東京都が運用している(胃がん・大腸がん)地域連携クリティカルパス「東京都医療連携手帳」に基づく連携診療体制を有しています。	平成23年11月
肝炎インターフェロン治療計画料	肝疾患に対する専門的知識を有する医師により、長期継続的な肝炎インターフェロン治療計画を策定し、地域の医療機関と連携し治療していく体制を有しています。	平成22年5月
薬剤管理指導料	医薬品情報の収集及び院内に伝達するための医薬品情報管理室を設置し、薬剤師が入院患者ごとに作成した薬剤管理指導記録により適切な薬学的管理及び薬剤指導を行っています。	令和7年3月
検体検査管理加算(Ⅰ)	当院は、臨床検査を担当する常勤医師を配置し、緊急検査を院内で実施する体制を整えています。また、質の確保の為に定期的に精度管理を実施しています。	平成24年4月
検体検査管理加算(Ⅱ)		平成24年4月
CT撮影及びMRI撮影	当院は、全身用16列X線CT装置を有しています。(MRI装置の配置はありません)	令和6年12月
運動器リハビリテーション料(Ⅱ) 初期加算 急性期リハビリテーション加算	当院は、常勤の理学療法士を2名配置し、医師の指示のもと、骨折・関節疾患・脊椎疾患・手術後の患者に対して、筋力強化・関節領域の改善等の基本的動作能力の改善を図るリハビリテーションを実施しています。	令和5年9月
仙骨神経刺激装置埋込術及び仙骨神経刺激装置交換術(便失禁)	5年以上の大腸肛門疾患の診療経験を有する2名の常勤医師(内1名は、仙骨神経刺激療法講習を終了)を配置し、脊髄の障害、直腸がん等の術後、加齢等により本人の意に反して大便が漏れてしまう症状がある患者に当該治療術を実施する体制を整えています。	令和6年8月
早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術	5年以上の消化管内視鏡手術の経験を有する常勤の医師により早期大腸癌に対する粘膜下層剥離手術を実施する体制を整えています。令和6年の実施件数は44件です。	平成24年4月

医科点数表第2章第10部手術の通則の16に掲げる手術(胃瘻造)	当院は、胃瘻造設術を実施した場合、所定点数の100分の100で算定できる医療機関です。	令和2年11月
輸血管理料Ⅱ	輸血療法を安全かつ適切に実施するため、輸血部門に専任の常勤医師と専従の常勤臨床検査技師を配置し、輸血用血液製剤及びアルブミン製剤の一元管理を実施しています。	平成28年8月
輸血適正使用加算		平成28年8月
人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算	人工肛門等造設後の合併症等の予防のため、当該手術に十分な経験を有する常勤医師と適切な研修を終了した常勤看護師により造設する部位の決定等術前準備体制を整えています。	平成24年4月
麻酔管理料(Ⅰ)	常勤の麻酔科標榜医師を配置し、麻酔前後の診察を行い麻酔の安全管理体制を確保しています。	令和5年5月
外来・在宅ベースアップ評価料(Ⅰ)	主として医療に従事する看護職員・薬剤師等(医師は除く)の賃金改善を図るための財源を診療報酬にて補填するためのものです。	令和6年7月
入院ベースアップ評価料 138		平成7年10月
入院時食事療養費(Ⅰ)	入院中の患者に対して、管理栄養士による管理された食事を適時・適温にて提供しています。	平成22年4月
一般名処方加算1、2	<u>【別添(2)】に掲載</u>	(ホームページ掲載事項)
医科点数表第2章第10部手術の通則の5及び6に掲げる手術件数	当院における令和6年1月～12月までの対象手術件数は、 <u>【別添(3)】</u> の通りです	(ホームページ掲載事項)
医療情報取得加算	オンライン資格確認を行う体制を有しています。また、受診患者より、マイナ保険証や各種問診票等を通じて、受診歴、薬剤情報、特定健診情報等の診療情報を取得・活用することにより質の高い医療の提供に努めています。	(ホームページ掲載事項)